

「平成30年7月豪雨を踏まえたため池対策検討チーム」について

目的

平成30年7月豪雨において、防災重点ため池ではない、中山間部の小規模ため池で決壊等が多発したことを受け、農村振興局内に検討チームを設置し、今回の災害を踏まえた効果的な対策の在り方を検討。

検討内容

- ・ 平成30年7月豪雨によるため池災害の現地調査（広島県）
- ・ 関係資料の収集と分析（下流への影響、規模、築造年、土壌条件等）
- ・ 上記の調査結果を踏まえた、今後のため池対策の進め方の検討

〈検討体制〉

平成30年7月豪雨を踏まえたため池対策検討チーム

チーム長：整備部長

チーム員：防災課長（事務局）

土地改良企画課長

水資源課長

計画調整室長

施工企画調整室長

岡山県関係者

広島県関係者

学識経験者（大学）

農業・食品産業技術総合研究機構

検討スケジュール

7月15日 検討チーム設置

7月17日 第1回会合（被害状況の把握と当面の対応の検討）

8月14日 第2回会合（現地調査、関係者意見交換）

10月3日 第3回会合（今後のため池対策の進め方の検討）

10月22日 第4回会合（ // ）

11月13日 取りまとめ結果の公表（プレスリリース）

新たなため池対策の展開